子どもたちの笑顔のために

市内の子どもの人数は近年、急増しています。未就学児の子どもは合併後の19年間で、1546人、58%増えました。本市の子育て支援や環境整備を保護者の方々はどのように考えているのでしょうか。

そこで、今号では保育園、認可保育園、幼稚園などを中心に、子ども・子育て支援に関するアンケートを実施しました。皆さんからいただいたご意見を紹介します。

未就学児の保護者719人にアンケート

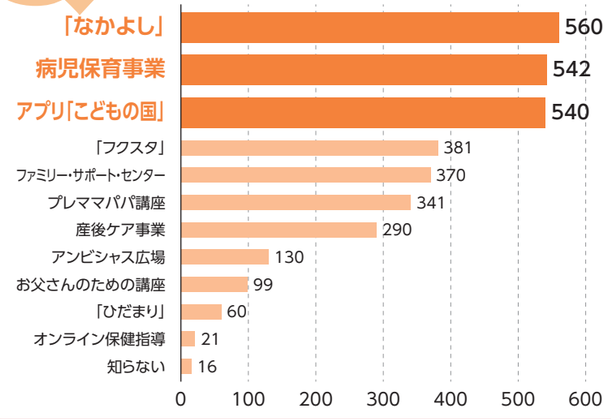
アンケート実施：令和6年5月

子育て支援で今後取り組んでほしいこと（自由記述まとめ）

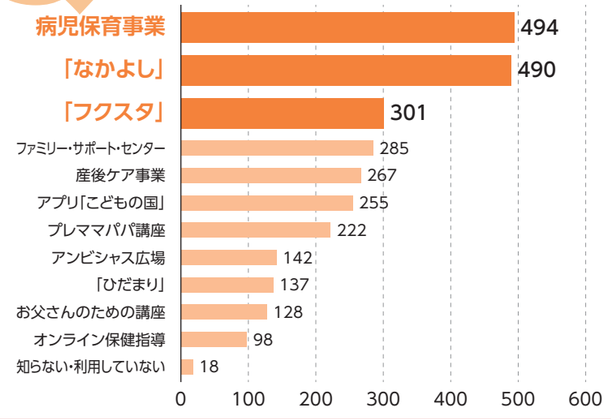
1	遊び場を増やしてほしい（公園や室内の遊び場）	60
2	保育料の減額、無償化	46
3	高校生までの医療費無償化	39
3	待機児童の解消	39
5	病児保育施設を増やしてほしい	38
6	オムツやミルクの支援	30
7	一時預り施設を増やしてほしい	21
8	「なかよし」の充実（利用時間の延長や遊具の充実）	16
9	産後ケア事業の期間延長と充実	14
9	ファミリー・サポートの利便性向上	14

【その他の意見】
- 学童保育の拡充
- 子育て支援アプリ「こどもの国」の利便性向上
- 公園の遊具の更新と充実化（大型遊具の増設など）
- 子育て応援パスポートなどの子育て支援事業を増やしてほしい

市の子育て支援で知っている事業は（複数回答可）



市の子育て支援で良いと思う事業は（複数回答可）



未就学児の保護者に本市の子育て支援事業についてお尋ねしました。子育て支援事業には、このようなものがあります。

- 病児保育事業
- ファミリー・サポート・センター
- オンライン保健指導
- プレママパパ講座
- 産後ケア事業
- 児童センター「フクスタ」
- 子育て支援センター「なかよし」
- 教育支援センター「ひだまり」
- アンビシャス広場
- 子育て支援アプリ「こどもの国」
- お父さんのための講座

※事業の内容は4Pをご覧ください。

市民の声

子どもの保護者、子育てに携わる人たちに「子育て支援に必要なこと」「これから取り組んでほしいこと」などを聞きました。

職員の声
しらぎく幼稚園
筱島 笑子さん

3歳児健診の際に、園と行政で情報連携することで子どもたちの発達に沿った支援ができるので、体制を作ってほしいです。

保護者の声
安部 まゆみさん

4人の子育てをしています。子どもが増えるほど負担も増えます。多子世帯への支援が少ないので増やしてほしいです。

保護者の声
占部 健太さん

大和保育所の存在がすごく助かっています。公立保育所を含めた保育園が今後も充実するようにサポートしてほしいです。

保護者の声
梶谷 勝三さん

病気や怪我など何かあった時に子どもに医療費がかかってしまいます。医療費無償化を高校生まで延長してもらえると安心です。

保護者の声
梶谷 美帆さん

病児保育の無償化はありがたいですが、予約が取れずに困っています。多くの人が利用できるようにしてほしいです。

保護者の声
増田 麻侑子さん
埜乃ちゃん
愛海ちゃん

子育てに必要な情報をギュッとまとめました

紙面のQRを読み取ると、市ホームページに繋がり、詳細が読めたり、講座や相談会の予約が取れたりと使いやすい仕組み作りにも力を入れました。

▲ガイドブックQR

子育て世代包括支援課
芳賀 みのり
社会福祉士

子育て支援ガイドブックを活用しよう（こどもの国）

「子育て支援ガイドブックこどもの国」は、市と九州大学の共同研究で製作しています。妊娠・出産から子育てまでの役立つ情報をわかりやすくまとめたガイドブックです。

各種制度やサービス、保育園・幼稚園、相談窓口等、役立つ情報を集約し一冊にまとめています。

子どもの発達支援やひとり親の支援、施設マップなど今号では取り上げきれなかった内容を紹介しています。ぜひご活用ください。

市民の皆さまと共に創っていく行政サービス

ガイドブック監修では、市民ワークショップで得られた気づきを反映し、市民の皆さまに寄り添うインクルーシブなデザインを心がけました。

皆さまのご協力のおかげで実現できました

市民の皆さまの、日々の活動や工夫、思いをもとに作成しました。

ページをめくることを楽しみながら、読んでいただけると嬉しいです。

ガイドブック監修
九州大学 大学院
芸術工学研究院
平井 康之 教授

ふくパパ編集担当
九州大学 大学院
芸術工学府
院生 岩下 恵都さん

相談・お知らせ

オンライン保健指導

外出が難しい方でも保健指導が受けられます。

子育て支援アプリ「こどもの国」

子育て講座や遊び場の紹介等の支援情報のアプリです。

▲Apple用QR　▲アプリのアイコン　▲Google用QR

QRを読み取ると、アプリをダウンロードすることができます。ご活用ください。

議会の追跡調査

子育て支援事業は進んでいるのでしょうか。過去に議員が行った一般質問や総括質疑が、その後、市政にどう生かされたのか、市の担当部署に確認しました。

令和5年9月一般質問 産後ケア事業の今後の拡充は

国は心身の負担軽減に向けて産後ケアの強化を掲げている。本市の今後の利用条件は。

あれから進んだのか？

産後ケア事業には宿泊型、デイサービス型、訪問型の3種類がある。負担軽減のため、令和6年4月から宿泊型利用額1日9千円を6千円に減額した。また、家事や育児に不安がある家庭を支援するため、令和5年11月から子育て世帯訪問支援事業を開始。市の委託事業所のヘルパーが訪問し、自宅で家事や育児の支援、育児相談などを行っている。

産後ケアはお守り代りぜひ活用を

双子の子育てで休む暇がなかったですが、温かい食事をゆっくり食べるなどして休めました。

保護者の
工藤 知未さん

令和5年3月一般質問 待機児童解消のための人材確保は

保育園では保育士不足のため定員数の受け入れが困難な園があり、待機児童が出ている。人材確保、離職防止や業務負担軽減の支援が必要では。

あれから進んだのか？

昨年度までに保育士の業務負担解消策としてICT化支援を行い、今年度からは保育士宿舎借り上げ支援事業を3年間から5年間に拡充し、人材定着に努めている。

また、公立大和保育所が研修や相談の機会を提供し、私立保育園・認定こども園の人材育成や課題解決に協力している。

「保活」がしやすくなる仕組みを

保育園に入りたい時に入れるか不安です。空きのある保育園一覧が簡単に確認できる仕組みがほしいです。

保護者の
中川 琴乃さんと晴貴ちゃん

令和5年12月一般質問 3歳児健診での視力検査の精度向上を

現在、3歳児健診での視力検査は、各家庭で行う簡易検査のみで、弱視等の視力異常の発見は困難。早期発見と治療で、完治できる可能性は高い。本市でも、3歳児健診で屈折検査を導入すべきでは。

あれから進んだのか？

令和6年7月から3歳児健診で屈折検査を導入。視能訓練士が屈折検査を実施し、小児科医が総合判定を行う。家庭での簡易検査と屈折検査を行うことで、視力異常の発見精度があがる。健診後のフォローで早期治療を支援する。

負担なく短時間で正確な検査

鮮やかな光を10秒程度見てもらうだけで検査終了。斜視や遠視、乱視などの早期発見・治療に。

子育て世代包括支援課
永園 侑紀 保健師

子育て期

病児保育事業

病児保育事業所へ補助金を交付して、1回の利用料を2000円まで無償にしています。

教育支援センター「ひだまり」

さまざまな理由で登校しづらい小中学生の学びの場です。

ファミリー・サポート・センター

育児の援助を受けたい人・したい人が登録し支え合います。

アンビシャス広場

児童の放課後の居場所づくりや休日の体験活動をしています。

児童センター「フクスタ」

小中高校生の居場所です。

子育て支援センター「なかよし」

就学前の子どもと保護者で一緒に遊べる場所です。

プレママパパ講座

ママ同士・パパ同士の交流や沐浴等の練習も可能です。

お父さんのための講座

お父さんの育児参加の応援や交流が目的です。

ぜひ利用してね！

市の子育て支援事業を紹介します

妊娠・出産期

産後ケア事業

産後の母子のケアや育児指導を宿泊や訪問等で受けられます。

保護者の声
棚町 真介さん

夫婦共働きでも子育てできる環境が整うように、保育士の人たちが働くための給料などの待遇への改善をしてほしいです。

保護者の声
棚町 翔子さん

職員の声
津屋崎保育園 園長
吉田 隆夫さん

「玉磨かざれば器をなさず。」子ども達は、大切な原石です。子ども達が輝くためには、充分な遊び場の確保が重要です。

職員の声
双葉保育園
古賀 麻梨奈さん

元気な子ども達と毎日過ごしています。子ども達は、多くの事柄を学びながら成長しています。うれしい限りです。

保護者の声
足立 明子さん

子育て世代は、負担も大きいです。3歳からの保育料の無償化はありがたいですが、0歳～2歳も対象になるとさらに良いと思います。

保護者の声
足立 憲正さん